

施設における自己評価の結果

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

【評価対象期間】 令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日

項目	内容	評価				振り返り 改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	☐	☒	☐	☐	毎日の終礼でクラスの実態を共有し、安全な保育環境の準備を実施している。 全職員で1年間のクラスの振り返り等を現時点でのクラスの実態を共有し、次年度の目標テーマを決めるようになったため、子どもの実態を把握しながらの保育が進められるようになってきた。 保育者の願いはHPでお知らせしているが、保護者の願いも反映できるように保護者の意見により耳を傾けるようにしていきたい。 研修や会議を通して取り組むべき課題についての気づきを共有し、共通理解を大切にしたい思いがあるが、今後も検討が必要である。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしている。	☒	☐	☐	☐	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	☐	☒	☐	☐	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	☒	☐	☐	☐	
保育・教育について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。	☐	☒	☐	☐	年間指導計画を基本とし週日案の記録を通して振り返りを行い、次に生かしている。 また、保護者向けの月の振り返りを写真付きで作成することにより、より明確な振り返りができている。 保育内容について、ねらいを明確にしそのねらいに基づいた内容で実施していくようもう少し意識改善は必要である。 園にある環境を工夫し、より有意義な環境にする努力は必要。 保育環境については行事の準備時期に入ると保育室環境が乱雑になるため、意識して保育環境を整えていきたい。
	(2) 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。	☐	☒	☐	☐	
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	☐	☒	☐	☐	
	(4) 評価結果をもとに、保育・教育の改善に努めているか。	☒	☐	☐	☐	
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	☒	☐	☐	☐	クラスの状況に即した流れで過ごしながら、必要に応じて柔軟に対応している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	☒	☐	☐	☐	子ども・クラスの実態をふまえ、指導計画を計画する意識は以前よりも改善されてきている。 行事の種類・実施回数については適切であると思うため、令和6年度も引き続き、令和5年度同様の行事を実施していく方向に決まったが、コロナの終息、近年の気候変動により令和6年度終了時点で検討をする方向性となった。 行事においては、保護者の意見を真摯に受け止め、次年度の改善案として検討していく方向ではある。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	☐	☒	☐	☐	
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	☒	☐	☐	☐	
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	☒	☐	☐	☐	

◎保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内容	評価				意見 改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。	☐	☒	☐	☐	職員の配置・役割分担については、職員との話し合いで決めているため、特に問題はない。 小さな園のため、クラス単位だけでなく全体が協力し合える体制づくりを職員間の連携を意識して行動する事に申し越しの努力が必要であり、全体にも目を向け気づきを基に積極的に行動することが課題としてある。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	☒	☐	☐	☐	
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適当か。	☒	☐	☐	☐	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	☒	☐	☐	☐	毎日の終礼をもとに月1回の職員会議は次月に実施するクラスの活動などの共有をしている。 共有のみにならないよう、クラスの実態を全体で把握しながら、より良い保育を職員間で整えるように努めていく必要がある。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	☐	☒	☐	☐	
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	☒	☐	☐	☐	前年度のクラス実態を共有し、次年度の目標やテーマを決めているため、クラスの実態により近い設定ができているが、成長に合わせた保育運営の工夫は必要である。 今年度は「スイッチ保育」を実施し、異年齢で活動をする日を週1日設定し実施し、異年齢の関りが子どもたちの心の成長につながった。 スイッチ保育での振り返りを充実させ、主体的な活動が自然発生する環境づくりに常にチャレンジする。
		(2) 年齢別クラス目標は、幼児の実態に即して設定しているか。	☒	☐	☐	☐	
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	☒	☐	☐	☐	
		(4) 評価・資料（諸記録）を集積しているか。	☐	☒	☐	☐	
	保健・安全指導	(1) 年齢別クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	☒	☐	☐	☐	警察署、消防署からの指導内容を全職員で定期的に確認できるような場を今後も計画していく。 園だよりの季節に合わせた情報を発信し家庭への啓発を今後も行っていく。
		(2) 避難訓練を計画に基づいて適切に実施しているか。	☒	☐	☐	☐	
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	☒	☐	☐	☐	
情報について		(1) 幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	☒	☐	☐	☐	次年度はデータでの管理をさらに強化していく。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	☒	☐	☐	☐	
施設・設備		(1) 施設内外・施設の安全点検を計画的に行っているか。	☒	☐	☐	☐	安全点検、消防用設備点検を行い、安全を確認している。 地域や保護者へのお知らせは今後もHPを活用して実施していく。 感染症の状況等、必要な情報発信に活用しているが更なる内容の充実を目指す。
		(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	☒	☐	☐	☐	
		(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	☒	☐	☐	☐	
		(4) 掲示板・掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	☐	☒	☐	☐	
経理		(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	☐	☒	☐	☐	管理の更なる強化に努める。

項目	内容	評価				意見 改善策
		A	B	C	D	
と 地 の 域 連 社 携 会	(1) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・小学校などと交流しているか。	☒	☐	☐	☐	幼保小連携会議を通して、5歳児による地域の保育園との交流を実施している。来年度も引き続き実施をし、スムーズな進学を目指していきたい。
子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭を開放しているか。	☒	☐	☐	☐	園庭を開放しているが、来園者が少ないため、もう少しアナウンスを工夫していきたい。 子育ての学習の場として、講師を招いて親子の触れ合い遊び等を実施し、その中で保護者の悩みを聞いてもらっているが、なかなか保護者の悩みを緩和できる対応ができていないため、今後も努力をしていく。
	(2) 『子育てについて』など保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	☐	☒	☐	☐	
	(3) 職員による育児に係る『子育て相談』は充実しているか。	☐	☒	☐	☐	
	(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	☐	☒	☐	☐	
情 報 の 発 信	(1) 園だより・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	☐	☒	☐	☐	園だよりと合わせて、テーマに沿った各クラスの活動内容等を知らせている。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	☐	☐	☒	☐	行事関しては地域の方々にも参加をさせていただいているが、園の教育が見えるように工夫をしていきたい。
評 外 価 部	(1) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。	☐	☒	☐	☐	行事ごとのアンケートを行い、意見の把握に努めている。

【園全体の評価】
令和5年度1月より、「子どもが自然に気持ちを切り替えられるようになれば、もっと楽しい幼稚園生活が送れるのではないか」という願いのもと、新たな保育運営として「スイッチ保育」を開始しました。今年度は、9月から本格的に取り組みを進めています。

子どもたちに自由な時間を保障することで、「やるべきこと」と「やりたいこと」のバランスが整い、自主性がより一層育まれているように感じています。こうした取り組みを通じて、子どもたちの「主体性の基盤」を育んでいけるよう、今後も「スイッチ保育」を土台に、改善と工夫を重ねながら、より良い保育環境の創出を目指してまいります。

【来年度の課題】
これまで「当たり前」とされてきたことが、もはや当たり前ではなくなっている今の時代。保育の現場においても、保護者対応の在り方に柔軟な変化が求められていると感じています。
手紙の配信をメールに切り替えるなど、情報の伝達方法を少しずつ見直しながら、働く保護者の方々にも保育に参加しやすい環境づくりを進めています。限られた時間の中でも、子どもたちの成長を共に見守り、関わっていただけるよう、スケジュールの工夫や配慮を重ねていきたいと考えています。
今後も、時代の変化に寄り添いながら、保護者と保育者がより良い関係を築けるような取り組みに努めていきたい。